

宮崎国際大学 教育学部ニュースレター

ハイライト:

I. 特集

学生教職支援センター

- 教師になる夢を支える学生教職支援センター
- 教員採用試験対策講座 教員採用試験のための合格プログラム、スタート!

II. 教育学部近況

- 学生の感想「私がMIC教育学部に入学した理由」
- スクールトライアルに参加して
- 「トライアスロン大会」のボランティアに参加して
- 日向市立日知屋小学校の体験入学のスタッフをした感想

III. その他

- イベント情報
- 文科省「大学教育再生加速プログラム」に採択!

教育学部 児童教育学科

I. 特集 学生教職支援センター

■「教師になる」という想いを現実のものに

学生教職支援センターは全力で応援します!

今年4月に開設した教育学部では、小学校教諭一種、幼稚園教諭一種の教員免許状と保育士資格を取得できます。そこで、小学校教諭を目指す学生が全員教員採用試験に合格し、卒業時には晴れて夢・希望である小学校教諭になれるように支援するために学生教職支援センターが設置されました。ここでは、教員採用試験合格に向けて、学生諸君が1~4年までのカリキュラム履修と当センターの支援プログラムの学修を通して、将来「人間性豊かで、燃えるような情熱と指導力・資質を身に付けた教員・保育士」となることを教職員一同、全力で応援します。



学生教職支援センター長
中原 邦博



**平成27年度 宮崎県公立学校 中・高教員採用試験
本学から3名が採用内定!**

平成27年度宮崎県公立学校教員採用試験一次試験の高等学校英語及び中学校英語で、本学卒業生から6名が合格し、最終的に3名が採用内定となりました。中でも、本年度の高等学校の採用枠は全県下で2名でしたが、それを本学卒業生が独占するという快挙を成し遂げました。

高等学校英語(採用定数2名)⇒宮崎国際大学2名合格

倍率27倍

第一次選考試験	受験者数54名 合格者数 8名(宮崎国際大学出身者5名を含む)
第二次選考試験	受験者数 8名 合格者数 2名(宮崎国際大学出身者2名が 独占)

中学校英語(採用定数7名)⇒宮崎国際大学1名合格

倍率16.3倍

第一次選考試験	受験者数114名 合格者数 14名
第二次選考試験	受験者数 14名 合格者数 7名(宮崎国際大学出身者1名を含む)

↑ 国際教養学部(教職課程)実績

【学生教職支援センターの取り組み】

～将来の教職員採用試験対策をきめ細やかに支援します～



4つの機能をもつ「学生教職支援センター」

- ① 教員採用試験のための合格支援プログラム※1の実施(以下紹介)
- ② 教員採用試験模擬試験の実施
- ③ 小論文の添削個別指導
- ④ 教員採用試験合格に向けた学習法、指導法の研究
- ⑤ 学修ポートフォリオによる学修成果の確認
- ⑥ 教員採用試験の情報提供、教員採用試験に関する学習相談



■教員採用試験対策講座

教員採用試験のための合格支援プログラムスタート！※1

第1回①「オリエンテーション」「生徒指導・人権教育」(10月18日実施)
講師：学生教職支援センター長 中原 邦博

オリエンテーションでは、まず教員採用試験の概要、特に試験時の出題枚数や試験時間及びその内容についての説明から始めました。例えば、出題枚数は小学校の専門科目では問題用紙10枚、解答用紙9枚、教職教養では問題用紙8枚、解答用紙2枚が配付され、試験時間は専門科目では90分、教職教養科目では60分で解答することなどです。また、問題数や時間は例年同程度であり、今後もこの傾向は続くことが予想されることなどについても言及しました。

ついで、今年度及び昨年度の宮崎県教員採用試験の問題から、大問一として日本国憲法をはじめ教育基本法などの教育関係法規から出題されていること、また、その年の教育関連ニュースを掲載した新聞記事の出題がされているこ

と、さらに、これらの出題傾向は今後も続く可能性が高く、従って教育関係法規の試験対策が必須であり、これらの授業をしっかりと受講する必要があることや日頃から新聞記事などにも目を通す習慣を付けておく必要があることなどを強調して話をしました。

続いて、「生徒指導・人権教育」の講義・演習に移り、今回は「人権・同和教育」に絞り、宮崎県教員採用試験の過去の教職教養問題の中から抜粋したものを取り上げて解説しました。問題によっては理解の難しいものもあったので、宮崎県人権教育基本方針や文部科学省の調査研究機関が取りまとめた資料などを参考にしながら、問題の解決に向けた勉強法について説明プログラムが終了しました。

第1回②「算数」(10月18日実施)
講師:教育学部 助教 渡邊 耕二

算数では、教員採用試験に出題される数学的な内容を中心に問題演習をしました。まず冒頭では、各都道府県・指定都市教育委員会が求める教員像をみながら、教科内容に関する学習が教員採用試験への準備において、どのような位置付けになるかを確認しました。ついで演習問題では、最大公約数・最小公倍数、不等式、比率の計算、2次関

数とグラフをキーワードに、それぞれの概念を振り返りながら、基礎的な内容に取り組みました。算数は、中学校と高等学校での数学の学習に大きく関係し、小学校の教員であっても、それに関して一定程度の知識が求められます。数学的に深い知識を基に教材研究に取り組めるように、その基盤を整えていきましょう。



「実践力の基盤に繋がる数学的な考え方を身に付けていきましょう。」

第2回「国語」(11月5日実施)
講師:教育学部 教授 菅 邦男

教職採用試験(1次・国語)では、教職と教科の2領域から出題されます。教職の授業は3年生からなので、1年生では教科をとりあげます。前期の授業「国語」では、小学校国語教科書教材(のジャンル)を中心に講義しました。教育実習で困らないようにということと、教職採用試験に出題されるということを念頭に置いてのことでした。今回は1回目ですので、基礎

中の基礎である「漢字の読み書き」を扱いました。間違いやすい、通常では使わないような漢字も含めて、かなりの数の問題でしたから戸惑いもあったかと思います。こういうものは、その時に覚えてしまうことが肝心です。今は基礎力を培う時期です。一つ一つ確実に覚えていきましょう。



「今は基礎力を培う時期です。一つ一つ確実に覚えていきましょう。」

第3回「体育」(11月19日実施)
講師:教育学部 准教授 嶋 政弘

「体育」では、体育科の領域構成を把握し、それぞれの領域から代表的な内容について学習しました。例えば、動画(ビデオ)参考に、「なぜうまくいかないか」「どこに着目したか」をもとに指導の要点についてまとめました。これらの活動は、指導のポイントをおさえる目を育て、具体的な指導の要点を説明できる能力の育成を意図したものです。1回

目の今回は、体づくり運動と、体力を把握するために実施されているテストおよび調査の実施項目とその実施要領を中心に学習し、過去の採用試験問題を解くことにより、どの程度詳しく学ぶ必要があるかについて気付いてもらうことを意識した展開としました。



「教科の専門内容を広く学習し、採用に向けて、そして実際の授業に応用できる力を付けましょう。」

第4回「音楽」(11月27日実施)
講師:教育学部 准教授 片野 郁子



「講座には必ず出席し、お互いに心の火を絶やさないようにしましょう。継続は力なり！」

教育職員採用試験(1次・音楽)では、①小学校学習指導要領音楽から、②共通歌唱教材の内容(楽譜から曲名を答える、楽典に関すること、歌詞に関すること、学年配当、和音に関すること、リコーダーの運指(指の使い方)、鍵盤楽器の運指、リズム創作などさまざまな分野)から、③鑑賞教材では具体的な指導法を答える問題等が出題されています。

前期の授業「音楽」では、学習指導要領の理解に努め、歌唱教材に

ついで知識理解、演奏技能の修得は必須であるため、これに関わる音楽理論と簡易伴奏法を中心に講義しました。

今回の講座では、教員採用試験の問題を提示して回答させ、これらの問題と、学習指導要領・教材の関係を明らかにし、採用試験に向けて何を勉強するべきかを自覚する機会としました。

第5回「国・宮崎県の教育動向及び当面する教育問題」(12月3日実施)
講師:学生教職支援センター長 中原 邦博



「新聞の社会面・教育欄やテレビ等の報道には日ごろから関心を持って見聞きすることが大切です。」

今回は「国・宮崎県の教育動向及び当面する教育問題」というテーマで、平成25年に閣議決定された国の第2期教育振興基本計画及び宮崎県が策定した宮崎県総合計画「未来みやざき創造プラン」に基づく第二次宮崎県教育振興基本計画について、具体的に説明を行いました。今年度の本県教員採用試験「教職教養」では、これに関連した問題が出題されていたので、説明の後に学生にこの問題を解かせました。

次に、平成25年に国会で成立した「いじめ防止対策推進法」、さらに、これを受けて宮崎県が策定した「宮崎県いじめ防止基本方針」について資料を基に説明しました。

その後、今年度の教員採用試験に出題された関連する問題を解かせました。国や県の教育動向及び関係法令に関する問題が、翌年にはすぐに出題されることを目の当たりにして、学生たちは真剣に問題に向かっていました。

■学生教職支援センターの教員採用試験合格支援プログラム

学生教職支援センターでは、学生の皆さんの教員採用試験合格を目指して、1年次から計画的に対策講座等を実施します。将来の夢を実現させるために、共に頑張りましょう。



	教育学部	国際教養学部
1年次	<p>教員採用試験のための特別対策講座（基礎Ⅰ） 回数：12講座 原則第2水曜日の午後（1講座） 講師：本学教員 内容：専門教科及び教職教養の実力養成講座開設 ・国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育 ・小学校学習指導要領の各教科目標及び内容について ・面接試験対策の講義及びロールプレイによる指導</p>	<p>専門教養得点力アップ対策(1) TOEIC到達目標500点 ・ARCを活用した英語講座 ・習熟度別編成授業の実施 ・TOEIC得点力アップ講座の実施 ・学生による自主的Workshop</p>
2年次	<p>教員採用試験のための特別対策講座（基礎Ⅱ） 回数：12講座 原則第2土曜日の午後（1講座） 講師：本学教員、外部講師 内容：専門教科及び教職教養の実力養成講座開設、小論文添削指導</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">特別対策合宿A</p> <p>回数：1回（2泊3日） 会場：市や県の社会教育施設 講師：現役教師、本学教員 内容：・筆記試験対策 ・個人及び集団面接対策 ・実技試験対策 ・小論文の指導など</p> </div>	<p>専門教養得点力アップ対策(2) TOEIC到達目標600点 ・ARCを活用した英語講座 ・習熟度別編成授業の実施 ・TOEIC得点力アップ講座の実施 ・学生による自主的Workshop</p>
3年次	<p>採用試験のための特別対策講座（応用Ⅰ） 回数：24講座 原則第2土曜日の午前（2講座） 講師：外部講師、本学教員 内容：専門教科及び教職教養の実力養成講座、小論文添削指導</p> <p>採用試験対策セミナー 回数：2回 講師：現役教師、本学教員、外部講師</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">特別対策合宿B</p> <p>回数：1回（2泊3日） 会場：市や県の社会教育施設 講師：教育行政関係者、現役教師 本学教員、外部講師 内容：模擬授業の指導ほか ・生徒指導などの場面指導 ・個人及び集団の模擬面接指導 ・集団討論の指導 ・実技試験対策指導など</p> </div>
4年次	<p>教員採用試験のための特別対策講座（応用Ⅱ） 回数：12講座 一次試験前までの第2・4土曜日の午前（2講座） 講師：外部講師、本学教員 内容：専門教科及び教職教養の実力定着講座</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">一次試験直前対策セミナー</p> <p>回数：12講座 一次試験前までの第2・4土曜日の午後（2講座） 講師：教育行政関係者、現役教師、本学教員、外部講師 内容：教育行政関係者の特別講義等 ・専門教科及び教職教養の定着 ・生徒指導などの場面指導 ・模擬授業の指導など</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">二次試験直前対策セミナー</p> <p>・個人及び集団の模擬面接指導 ・集団討論の最終指導 ・場面指導の徹底 ・実技試験対策最終指導など</p> </div>

II. 教育学部の近況

■学生の感想「私がMIC教育学部に入学した理由」

教育学部1年 角田純平 さん(宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校出身)



宮崎国際大学を会場に2014年7、8月開催の『西都市小学生 英語村』で小学生と触れ合う角田さん。(写真右)

私がこの大学に入学した理由ですが、それは「小学校の先生になりたいから」です。MICには先生になる為に有利となる点があります。それは、早い段階から先生になるための準備ができるという点です。先生方は教員採用試験を意識した授業を行ってくださいますし、1年生のうちから小学生と触れ合う機会が多くあります。入学してからまだ5カ月程しか経っていませんが、私は「英語村」やボランティア活動で「宮崎市立清武小学校でのサマースクール」、「日南市立鶴戸小学校でのしんとく塾」などに参加して、小学生と触れ合いながら勉強しました。

また、9月にはスクールトライアルといって、自分の母校へ行き、先生の仕事を3日間見学しました。1年生からこれほど先生になるための勉強ができる大学が他にありませんか？私はMICに進学して良かったと思っています。

教育学部は今年新設されたまだまだ歴史の浅い学部です。宮崎国際大学教育学部の伝統を作り上げていくのは学生の私たちの力だと思っています。「小学校あるいは幼稚園、保育園の先生になる。」という共通の目標を持つ仲間と一緒に最高の大学生活を送りたいと思います。

教育学部1年 奥津愛花里 さん(宮崎県立西高等学校出身)



オープンキャンパス時に『入学した理由』を高校生へ伝える奥津さん。

私は小学生の時に会った恩師にあげられ「先生みたいな教師になりたい」と思うようになりました。

入学して、私が夢を実現させるために取り組んでいることは、小学生とたくさん関わることです。私には小学5年生の弟がいます。弟の宿題や授業のノート、学級通信を見るのがとても面白くてたまりません。宿題を教えることもありますが、これまでは分からないところをただ教えていただけだったのが、大学で学ぶようになって苦手な教科をどう克服させたらいいのか、どうしたら興味を持って取り組めるのかなど深く考えられるよ

うになりました。

私は教育学部にある2つのコースのうち、小幼コースに所属し、小学校教諭1種免許と幼稚園教諭1種免許の取得を目指しています。さらに、幼児教育についてよく理解しそれを生かした教育ができる小学校の教師になるために保育士資格も取得したいと考えています。小幼コースのカリキュラムを履修しながら保育士の科目も履修し、保育士資格の取得にも挑戦しているところです。「小学校の教師になる」という目標を達成するために、これからも全力で頑張ります。

■スクールトライアルに参加して

教育学部1年 長友ゆり さん(宮崎県立宮崎北高等学校出身)

この学校体験は私にとって小学校の雰囲気や先生や子どもたちを深く知る、学ぶことの多い3日間となりました。とても驚いたのが、学年ごとに子どもたちの様子が違って行くことです。私もそのようにしてここまで成長して来たのかと思うと不思議な気持ちになりました。

授業見学では、子どもたちが楽しく分かりやすく学べるような工夫がされてあったり、また、先生によって授業の雰囲気が違ったりしていました。私が小学生の時の小学

校の雰囲気、先生、友達を見る視点とは違った視点で観察することができました。

先生は、担任のクラスだけではなくさまざまな担当の仕事を任されるなど、大変な仕事であることが分かりましたが、それと同時にたくさんの喜びがあるやりがいのある仕事だということを感じました。この体験を通して、自分に足りないところなどを発見することができたのでさらに成長できるように学んでいこうと思います。たくさんのご指導ありがとうございました。



「遊びと音楽」の授業で、手遊び歌、読み聞かせの発表会を行う様子。(写真左 長友さん)

■「トライアスロン大会」のボランティアに参加して

教育学部1年 椎原さくら さん(宮崎県立宮崎西高等学校出身)

7月12.13日の2日間、宮崎シーガイアトライアスロン大会にボランティアとして教育学部から8名の学生が参加しました。ボランティアの内容は、1日目が会場設営、2日目が給水場での選手のサポートでした。日差しが強く、外での作業はとても大変でしたが、選手の方々が一生懸命走ってい

る姿を見て、暑さも忘れ、私たちは必死に応援していました。

この2日間のボランティア活動を通して、このような大会は裏方のサポートがあって初めて成り立つのだなと実感しました。今後もボランティア活動に参加したいです。



ボランティアに参加したMIC学生8名と記念撮影。

■日向市立日知屋小学校の体験入学のスタッフをした感想

教育学部1年 太田原真琴 さん(宮崎県立宮崎南高等学校出身)

12月5日、日向市立日知屋小学校の小学5年生の体験入学の手伝いをしました。その体験を通して、国際教養学部先輩方の凄さや頼もしさを改めて感じ取ることができました。この体験で行う出し物の準備期間がとても短かったにも関わらず、準備をした3項目(歌、劇、クイズ)全ての完成度が高く、小学生みんなが楽しんで

英語に触れられる内容となっていました。特に「劇 赤ずきんちゃん」では、劇は英語で行いながら、ナレーションは日本語で行うなどして、工夫されていました。

このような英語活動の方法は、私にとって新鮮で、とても面白かったです。これからもこのような機会があれば手本にしていきたいと思います。



英語での動物の鳴き声当てクイズの様子。(写真左 太田原さん)

Ⅲ. その他

■イベント情報

◆入試直前！宮崎国際大学進学説明会

大学入試センター試験後に開催する本学入試直前の説明会です。入試、学部についての説明、個別相談を実施します。ぜひご参加ください。

【開催日】平成27年2月1日(日) 【開催時間】10:00～12:00(受付9:30～)

【場所】宮崎国際大学 【対象】平成27年度入試受験生

【内容】◎入試・学部説明 ◎個別相談等(全体終了後に個別に対応いたします)

◆2015 春のオープンキャンパス

～未来の自分と出会えるオープンキャンパス～

多彩なプログラムを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。イベント前日までに本学ホームページからお申し込み下さい。保護者のご参加もお待ちしております。

【開催日】平成27年3月21日(土・祝)

【開催時間】10:00～12:30(受付9:30～)

【場所】宮崎国際大学

【内容】学部学科紹介、体験授業、相談コーナー、キャンパスツアー他

【対象】新高校2、3年生

【送迎】南宮崎駅・清武駅から送迎あり!(要予約)



■文部科学省「大学教育再生加速プログラム」に採択！

この取り組みにより、教育学部では、広い視野から教育について考えることのできる教員や英語スキルの高い教員の育成が可能になり、さらに質の高い教員養成を行えるようになることが期待されます。

全国の大学・短大1,133校の中から選ばれました。

宮崎国際大学は
文部科学省「APプログラム」に採択されました。

先進的な取組を実施する大学を支援することを目的に公募され、全国の国公立大学等から250件の申請があり、46件が採択されました。これまで培ってきた本学の特色ある教育内容をさらに発展させるために、アクティブ・ラーニングと学修成果の可視化に全学で取り組みます。

Acceleration Program
大学教育再生加速プログラム

アクティブ・ラーニング(AL)の質向上と学修成果(クリティカル・シンキング:CT)の可視化

ALを体系化しベストプラクティスを明確にする	CTを客観的に測定・評価するツール(CTテスト)の開発	CTテスト開発に伴う英語スキルを向上させるALプログラムの構築	ルーブリック・ベース・シラバスによるPDCAサイクルの確立	eポートフォリオを用いた学修成果の可視化サイクルの確立
------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-----------------------------



宮崎国際大学

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931 FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp> スマートフォンサイト: <http://www.mic.ac.jp/sp>